

質疑・一般質問

3月2日、3日、4日の本会議では、20人の議員が一般質問を行い、この日も若者計画やスマートインターチェンジ計画などについて、市の見解を求めました。また、25日には修正動議について質疑を行いました。

発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は4面から6面に掲載しています。

なお、二次元コードを讀み取ると本会議の録画映像をご覧いただけます。



発言者一覧

— 発言順 — () は会派名

- 河村 和歌子** (公明党)
①新年度予算における不妊治療の新たな支援 ②JR魚住駅周辺地域の活性化
- 正木 克幸** (明石維新の会)
①包括的な福祉及び介護に関わる現場の人員不足 ②神戸大学との連携協定 ③中学校給食センターを活用した新たな食育や居場所の確立
- 山中 裕司** (かがやきネット・市民の会)
①認知症になってからの支援だけでなく、発症を遅らせるまちづくりへ ②障がいのある方の「親なき後」を支える生活基盤の整備 ③誰もが安心して暮らせる多文化共生社会の実現に向けて
- 出雲 有希子** (自由民主党明石)
①本市の法人及び個人事業主に対する施策 ②中学校部活動の地域展開「あかしタイム」
- 辻本 達也** (日本共産党)
①自治基本条例に係る認識と「対話と共創」 ②PFAS汚染への対応 ③中学校部活動の地域展開(あかしタイム) ④スマートインターチェンジ計画
- 中西 礼皇** (対話の会あかし)
①こども性暴力防止法(日本版DBS)への対応 ②対話と共創の取組
- 家根谷 敦子** (スマイル会)
①手話言語・障害者コミュニケーション条例 ②誰ひとり取り残さないまちづくり
- 飯田 伸子** (公明党)
①災害時の安全確保に向けた取組 ②小児がん患者及び経験者と家族への支援
- 高尾 秀彰** (明石維新の会)
①妊娠により悩む人を孤立させない取組 ②出産に対する不安、負担を和らげる支援制度
- 寺井 吉広** (かがやきネット・市民の会)
①水道管・下水道管の老朽化対策及び雨水管整備 ②中学校部活動の地域展開 ③自転車の利用環境の向上
- 井藤 圭順** (自由民主党明石)
①就学前施設と幼児教育 ②本市の防災・減災対策 ③神戸マラソン
- 長尾 博子** (公明党)
①物価高騰に対する市民生活支援 ②共生社会の実現に向けた障害者支援の推進 ③持続可能な公共交通に向けた交通施策と県内共通ICカード相互利用の推進
- 林 丸美** (かがやきネット・市民の会)
①PFAS汚染と血中濃度に関する現状認識及び調査の必要性
- 三好 宏** (自由民主党明石)
①企業版ふるさと納税の獲得強化 ②コミュニティバス「たこバス」
- 尾倉 あき子** (公明党)
①幼児教育センター設置による幼保小の架け橋期の教育の充実 ②第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」 ③明石川の治水対策
- 上田 雅彦** (かがやきネット・市民の会)
①路上喫煙防止条例の制定に当たり、市民の健康と安全を守る視点をどのように位置づけるか
- 金尾 良信** (かがやきネット・市民の会)
①障害のある方がさらに投票しやすい環境づくり ②民生委員・児童委員の活動周知と担い手の確保 ③明石商業高校福祉科の現状と今後
- 黒田 智子** (かがやきネット・市民の会)
①学校給食無償化と子育て世帯への支援 ②こども・若者計画 ③明石サービスエリアへのスマートインターチェンジ設置
- 中川 夏望** (かがやきネット・市民の会)
①医療的ケア児等を育てる家族の支援 ②令和8年度当初予算 ③公立学校のプール施設の展望 ④放課後児童クラブの今後
- 山下 祥** (かがやきネット・市民の会)
①大蔵海岸の魅力向上に向けて
- 3月25日質疑
◎議案第29号 令和8年度明石市一般会計予算に対する修正動議
榎本和夫(自由民主党明石) 中村茂雄(明石維新の会) 千住啓介(自由民主党明石)

他校区への避難も必要

津波を想定した 防災訓練の在り方は

問 南海トラフ地震の際、一部の沿岸部の避難所は津波の警戒が必要となる。校区を越えた避難や今後の取り組みについて聞く。

答 南海トラフ地震で津波等の被害が予想される沿岸部地域の藤江、二見、谷八木では、令和4年度から地域の人が避難所までの経路を確認するとともに避難所運営を体験することにより地域防災力の向上に取り組んでいる。津波の警戒が必要な標高3メートル以下に避難所がある林、中崎小学校区は、他校区に避難する必要があるため、避難場所や避難経路の確認、隣接する校区での防災訓練を検討



避難所となる体育館で防災訓練

している。8年度は林小学校区で津波を想定した防災訓練を実施する予定だ。今後は中崎小学校区の人々が隣接する校区で避難所運営が体験できるよう検討を進めていく。

障害者支援アプリ導入予定

日常生活に役立つ機能の充実図る

問 障害者支援アプリ等は生活や社会参加の重要な手段である。障害福祉における情報デジタル機器支援の充実が必要だが、市の見解は。

答 本市は市民にやさしいインクルーシブなD

Xを掲げ、デジタル技術を活用し、市民ニーズに寄り添った行政サービスを目指している。これまで高齢者や障害者対象のスマホ教室、機器の貸し出しや費用助成等に取り組んできた。令和8年度は、障害者やその家族等が必要なサービス利用へ円滑につながる障害者支援アプリを導入予定だ。支援制度を掲載した障害福祉のしおりのデジタル化、サービス事業所の検索機能等、利便性の向上が期待できる。今後日常生活等に役立つものとなるよう機能の充実を図っていく。

対話と共創 まちづくりの 成果と課題

問 対話と共創の取り組みの成果と課題を聞く。

答 本市は対話と共創をまちづくりの基本方針としており、市民とのタウンミーティングやワークショップ、産官学民の多様な主体によるあかし共創プラットフォームなどを通じて、市民とともにまちづくりを進めている。令和

7年度は施策形成の進捗よくに合わせた計画的な開催に加え、より多くの人が対話の場に開かれるよう無作為抽出による参加者公募を行った。市政に関わる市民の広がりにつながると認識しており、引き続き活用していく。今後はこれまで実施してきた対面による対話を重視しながらデジタル技術も活用し、時間や場所にとらわれずに市民の声を把握する方法やその効果について調査・研究していく。

明石港東外港地区の にぎわい創出 県との連携や今後の展望は

問 明石港東外港地区のにぎわい創出に向けた県との連携や展望について市の見解を問う。

答 同地区は、令和7年2月に大蔵海岸までつながる海沿いエリアの魅力・にぎわい向上を目的に現市役所庁舎跡地も含めた一体的な土地利用について県と市が連携し取り組むことを確認し、9月に県有

地と市有地の一体的な開発を推進する協定書を締結した。8年2月には中崎展望広場に新たなモニUMENTが設置され、3月にオープンフェスタが開催されるほか、各種イベントが定期的に開催される予定と聞いている。今後は明石港東外港地区と大蔵海岸地区の魅力を最大限に発揮できるように、県との連携を進めていく。

PFASの健康への影響

現状把握に向け 血液検査の実施は

問 PFAS汚染と血中濃度の現状認識および実態把握のための疫学

答 現在、PFASの血中濃度と健康への影響との関係は科学的知見が十分に確立されておらず、明確な血中濃度の基準も国から示されていないため、検査後の医学的フォローや継続的支援体制の構築ができない状況である。

このため疫学的・予防的調査を実施する予定はないのか。血液検査を実施する予定はないのか。

問 制定予定の路上喫煙防止条例はマナーを守るだけでなく、市民の健康と安全を守る視点を反映すべきと考えるが、市の見解は。

答 本市は路上喫煙防止策としてJR各駅周辺に喫煙所を設置し、巡回職員による路上喫煙者の誘導を行っており、過料徴収等の罰則はないが一定の成果はある。しかし夜間対策や煙など健康面の影響等の課



JR明石駅北側の喫煙所

路上喫煙防止条例 マナーの向上と 健康被害防止へ

制定予定の路上喫煙防止条例はマナーを守るだけでなく、市民の健康と安全を守る視点を反映すべきと考えるが、市の見解は。

今後は、望まない受動喫煙から市民の健康を守り、歩きたばこによるやけど被害の防止等、喫煙者而非喫煙者が共に暮らしやすいまちづくりに取り組んでいく。